

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 金曜1限	教室名	pc視聴覚室
担 当 教 員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>コンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2010</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>自宅にあるPCを使つての復習等。</p>						
《履修に当たつての留意点》						
<p>MicrosoftOfficeの基本的な操作方法を覚える。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワードの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	既存の文書内容を変更できるようになる			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	複雑な書式の文書が作成できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	段組みを利用した複雑な文書作成			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	写真や画像の編集ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	画像のトリミング、コントラスト変更、回転やアート効果など			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	インターネットからの情報収集の仕方。写真などの保存ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	素材提供サイトから画像素材の保存方法、文書への挿入方法など			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	ヘッダー・フッターの挿入、編集ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
		各コマにおける授業予定	ヘッダー・フッターの挿入、編集の仕方を覚える			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	エクセルの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	応用的な関数。四捨五入、切り上げ、切り捨てなどを覚える		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	実用的な関数を使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	日付の計算。条件で判断する関数を覚える		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的な書式を設定できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	条件付き書式、入力規則の設定、コメントの挿入の仕方を覚える		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	スマートアートを使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スマートアートや図形を使って鮮やかなブックの作成方法を覚える		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	ワード、エクセルのまとめ練習問題	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	エクセル・ワードでのまとめ。練習問題など		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	パワーポイントの応用的な操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	スライドに必要な素材を収集方法を覚える		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	スライドに動画や音楽を挿入できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	事前に用意した動画、ビデオ、音楽を組み込んだスライド作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	応用的なアニメーションを使うことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	図形や画像にアニメーションを設定し、自由に動かすことができる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	プレゼンテーション作成	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	課題にそった情報収集とスライドの作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeへの理解をさらに深め、使いこなすことができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人間と尊厳と自立		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 月1限	教室名	401
担 当 教 員	腰前彰徳	実務経験と その関連資格	社会福祉士として、知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導者			
《授業科目における学習内容》						
1年の前期であり、学生自体も自分の自立を意識していない状況にあるため、まず自己覚知から他者を知ることに意識した授業を行っていく。グループワークを通して、他者理解を深め考察していく展開とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成講座人間の理解1中央法規出版 参考図書:人間の理解(メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
教科書の演習の予習・復習(授業で範囲指定)						
《履修に当たっての留意点》						
演習時の学習態度・意欲						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳を福祉のもつ意義から考えることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	人間の尊厳について個々で考えてみる。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 授業内容について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が人間の幸せに深く関わっていることを理解できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読む。	
		各コマにおける授業予定	人間の尊厳と自立 人間を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士としての倫理観を学び、個人の尊厳、基本的人権について基礎知識を身につけることができるようになる	参考:メヂカルフレンド社 プリント配布p8~16	教科書の指定範囲を読む。	
		各コマにおける授業予定	社会福祉を考える 人権思想から尊厳を考える			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法律からの尊厳を知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読む。	
		各コマにおける授業予定	障害者基本法 介護保険について			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会福祉領域での人権、福祉理念を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読む。	
		各コマにおける授業予定	人権・福祉理念の変換について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	人権思想がどのような経緯で誕生したか理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	戦後の新たな福祉のあり方について考える p50の演習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳、人権・権利擁護を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人権尊重と権利擁護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の尊厳と自立が生活支援においてどのように活かされているか学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	生活を通して人間の尊厳と自立・自律を考える		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	事例を通して尊厳と自立を考える、他者の理解を深めることが出来るようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	振り返り 演習(p77～78)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする人々の自立支援の理解をすることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	介護における自立支援		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳を持って介護を必要とする人への関わり方を学べ介護福祉士の役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	介護の尊厳について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における自立支援を学び又国際生活機能分類の特徴を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立支援とICF		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護場面において尊厳の保持がどう行われているか事例から学ぶことができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	介護における尊厳の保持		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活理解をし、支援することが、生きる意欲につながることを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	事例を通して自己決定について考える		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	尊厳と自立を社会福祉を通し、理解できたか確認することができる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定範囲を読んでくる。
		各コマにおける授業予定	振り返りとまとめ、試験対策をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	人間関係とコミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	6 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 月2限	教室名	401
担 当 教 員	腰前彰徳	実務経験と その関連資格	社会福祉士として知的障がい者施設勤務10年 介護実習指導員			
《授業科目における学習内容》						
対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得、チームで働くための能力を養う学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座1 人間の理解(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
コミュニケーション技術の科目 前期にあり 復習する						
《履修に当たっての留意点》						
実習で施設の介護業務を参考として、授業に臨む						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人類の進化を学び人の発達について理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	人間関らしさのはじまり			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間形成に必要な自己知覚、自己開示について学び、自己知覚を理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	ジョハリの窓について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間の段階的な発達から人間関係の広がりについて理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	パーソナリティについて			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	対人認知について理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	他者とのかかわり～対人認知の傾向			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	人は他者や集団とかかわりながら成長するのかを学理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。	
		各コマにおける授業予定	他者と集団			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	ストレス反応について学ぶ	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	人間関係とストレス 演習2-1 演習2-2		
第7回	講義形式	授業を通じての 到達目標	コミュニケーションの特性・構造について学び、理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	コミュニケーションの概念と基本構造		
第8回	講義形式	授業を通じての 到達目標	言語・非言語的コミュニケーションについて学び、身につけることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	コミュニケーションの手段①		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	言語・非言語的コミュニケーションについて学び、身につけることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	コミュニケーションの手段② 演習2-3 2-4		
第10回	講義形式	授業を通じての 到達目標	援助者としてのコミュニケーションの基礎を学び、現場で活かせることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	対人援助関係とコミュニケーション		
第11回	講義形式	授業を通じての 到達目標	組織においてどのようなコミュニケーションが求められるていくのかを知り理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	組織におけるコミュニケーション		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	介護実践におけるチームマネジメントの基本となる考え方を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	介護実践におけるチームマネジメント 演習3-2		
第13回	講義形式	授業を通じての 到達目標	チームでケアを展開するために必要な取り組みについて学び、理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	ケアを展開するためのチームマネジメント		
第14回	講義形式	授業を通じての 到達目標	質の高い介護サービスは組織に支えられていることを理解できるようになる	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	チームマネジメントについて～人材育成・組織		
第15回	講義形式	授業を通じての 到達目標	振り返り	最新 介護福祉士養成講座1「人間の理解」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける 授業予定	試験対策 傾向を知る		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	第1学年		学期及び曜時限	通年 水曜日	教室名	401
担当教員	松下 修	実務経験と その関連資格	指導歴11年、第1種英語教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
福祉現場でなされる会話の練習を通じて、現場特有の英語表現や専門用語を学ぶ 施設の特徴、支援内容についての英文を読み、語彙力、読解力を身につけていく 英語福祉検定受験に必要な語彙力、聴解力、読解力を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) + 出席(20%) + 提出物等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH(NPO法人医療福祉英語検定協会) 副教材:LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH 福祉英語専門用語集、福祉英語検定試験問題						
《授業外における学習方法》						
新出単語の予習、課題						
《履修に当たっての留意点》						
配布されたプリント類はファイリングして、学期ごとに自己評価シートを記入の提出のこと 本講義用にノートを1冊用意すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	英語の必要性及び異文化理解のために必要な態度について理解できる	教科書 副教材		新出単語の意味調べ
		各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、異文化接触における自身の考え方や態度について考える			
第2回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	英語の発音記号をもとに発音ができる	教科書 副教材		課題 新出単語の意味調べ
		各コマに おける 授業予定	英語の母音、子音について 発音記号について			
第3回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	初対面の利用者とはって自己紹介をし、施設の案内ができる	教科書 副教材		課題 新出単語の意味調べ
		各コマに おける 授業予定	Meeting a Client at a Facility 1 あいさつ、自己紹介の表現、施設を案内する表現			
第4回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	備え付けの器具や備品の使い方の説明ができる 場所を尋ねたり、説明することができる	教科書 副教材		課題 新出単語の意味調べ
		各コマに おける 授業予定	Meeting a Client at a Facility 2 あいさつ、自己紹介の表現、施設を案内する表現			
第5回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	入所者に食事時間について説明し、好き嫌いについて尋ねることができる	教科書 副教材		課題 新出単語の意味調べ
		各コマに おける 授業予定	Explaining Meals Schedule and Identifying Food Preferences 食事時間の表現、好き嫌いの尋ねる、時間の表現			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	入所者に食事についての提案ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Meal Assistance 食欲がない方への提案の表現、食事介助		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	職員、入所者の家族に入所者の行動の報告ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	At a Childcare Facility 「～していました」の表現		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	体温と脈拍を測定し、その測定結果を伝えることができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Daily Routine 1:How to Take Your Client's Temperature and Pulse 体温や脈拍を計測するときに必要な表現		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血圧の測定後の結果を伝える 大きな数字が言える	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Daily Routine 2:How to Take Your Client's Blood Pressure 血圧測定時に必要な表現 10の位、100の位の数字の言い方		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻痺のある入所者が自力で起き上がるための手順が説明できる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Explaining the Process of Sitting Up by Yourself 提案、勧誘の表現 "Why don't we～?"		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ベッドから車椅子への移動する時の説明ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	From Bed to Wheelchair 「～する方法、やり方」"how to～"の表現		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	入所者からの依頼に応じたり、依頼をすることができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Meeting a Client's Request: A Hair Wash 依頼の表現とそれに応じる表現		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	足浴やマッサージを受ける入所者に対して適切に応答できる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	How to give a footbath and Massage 「私に知らせてください」"Let me know～"の表現		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の情報共有のための状況報告ができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	Weekly Meeting of Social Workers 「～について心配しています」"I'm concerned about～"		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの学習項目における理解度、到達度を自分で確認し、後期への学習に活かすことができる	教科書 副教材	
		各コマにおける授業予定	前期試験とまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	第1学年		学期及び曜時限	通年 水曜日	教室名	401
担 当 教 員	松下 修	実務経験と その関連資格	指導歴11年、第1種英語教員免許状			
《授業科目における学習内容》						
福祉現場でなされる会話の練習を通じて、現場特有の英語表現や専門用語を学ぶ 施設の特徴、支援内容についての英文を読み、語彙力、読解力を身につけていく 英語福祉検定受験に必要な語彙力、聴解力、読解力を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験(70%) + 出席(20%) + 提出物等(10%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH(NPO法人医療福祉英語検定協会) 副教材:LET'S STUDY WELFARE IN ENGLISH 福祉英語専門用語集、福祉英語検定試験問題						
《授業外における学習方法》						
新出単語の予習、課題						
《履修に当たっての留意点》						
配布されたプリント類はファイリングして、学期ごとに自己評価シートを記入の提出のこと 本講義用にノートを1冊用意すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 自分の知っている英語を用いて、英作文ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマに おける 授業予定	・語彙練習 ・英作文練習 ・オリエンテーション、グループワーク、発表についての説明			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 特別養護老人ホーム施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマに おける 授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 養護老人ホーム施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマに おける 授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	これまでの語彙を用いて、特別養護老人ホーム施設、養護老人 ホーム施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマに おける 授業予定	グループワーク、発表			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 デイケアサービスセンターについての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ	
		各コマに おける 授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 老人保健施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、特別養護老人ホーム施設、養護老人ホーム施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 身体障害者療護施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 身体障害者授産施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、身体障害者療護施設、身体障害者授産施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 児童養護施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 知的障害児施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉英語の語彙を身につける。 児童自立支援施設についての説明を英語で理解できる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	・語彙練習 ・黙読、音読練習 ・内容理解、重要表現の練習		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの語彙を用いて、知的障害児施設、児童自律支援施設または肢体不自由児施設について簡単な英語を用いて、説明ができる。	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	グループワーク、発表		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの学習項目における理解度、到達度を自分で確認し、今後の自主学習に活かすことができる	教科書 副教材	課題 新出単語の意味調べ
		各コマにおける授業予定	後期試験とまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水4限	教室名	401教室
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
地域包括支援を担う介護福祉分野の領域や、視点について理解を深めるために、社会資源の理解や企画運営を通して、マネジメント力の基礎を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・レポート 70% 出席評価 20% 授業態度 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料を準備、タブレット(ipad)使用する						
《授業外における学習方法》						
住んでいる地域や医療・福祉のしくみについて日頃から意識をしておく。Ipadを使用しての調べ学習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
学外での学習もあるので積極的に取り組む。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる			
		各コマにおける授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について調べる。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる			
		各コマにおける授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について調べる。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる			
		各コマにおける授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について発表			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。			
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームについて調べ学習を行う。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。			
		各コマにおける授業予定	施設見学を通じて、特別養護老人ホームの理解を深める			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。		
		各コマにおける授業予定	施設見学を通じて、学んだことをまとめる		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
		各コマにおける授業予定	障害者支援施設について調べ学習を行う。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
		各コマにおける授業予定	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解を深める		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
		各コマにおける授業予定	施設見学を通じて学んだことをまとめる。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
		各コマにおける授業予定	2年生より、活動内容を聞き、実際に行うレクリエーションについて考える。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームにてレクリエーションを実施する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の活動についてまとめる		
		各コマにおける授業予定	前期の活動についてまとめ、施設、地域について理解する		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水4限	教室名	401教室
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
地域包括支援を担う介護福祉分野の領域や、視点について理解を深めるために、社会資源の理解や企画運営を通して、マネジメント力の基礎を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・レポート 70% 出席評価 20% 授業態度 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料を準備、タブレット(ipad)使用する						
《授業外における学習方法》						
住んでいる地域や医療・福祉のしくみについて日頃から意識をしておく。Ipadを使用しての調べ学習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
学外での学習もあるので積極的に取り組む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる				
	各コマに おける 授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について調べる。				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる				
	各コマに おける 授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について調べる。				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	地域との関わり、自分の住んでいる地域の福祉について知ることができる				
	各コマに おける 授業予定	地域ボランティアや地域の福祉活動について発表				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。				
	各コマに おける 授業予定	特別養護老人ホームについて調べ学習を行う。				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。				
	各コマに おける 授業予定	施設見学を通じて、特別養護老人ホームの理解を深める				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、特別養護老人ホームについて理解する。		
	各コマにおける授業予定	施設見学を通じて、学んだことをまとめる		
第22回	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
	各コマにおける授業予定	障害者支援施設について調べ学習を行う。		
第23回	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
	各コマにおける授業予定	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解を深める		
第24回	授業を通じての到達目標	施設見学を通じて、障害者支援施設について理解する。		
	各コマにおける授業予定	施設見学を通じて学んだことをまとめる。		
第25回	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
	各コマにおける授業予定	2年生より、活動内容を聞き、実際に行うレクリエーションについて考える。		
第26回	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
	各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第27回	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
	各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第28回	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
	各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームで行うレクリエーションに向け準備する。		
第29回	授業を通じての到達目標	特別養護老人ホームでレクリエーションを行い利用者に関わり生活を理解する。		
	各コマにおける授業予定	特別養護老人ホームにてレクリエーションを実施する。		
第30回	授業を通じての到達目標	前期の活動についてまとめる		
	各コマにおける授業予定	前期の活動についてまとめ、施設、地域について理解する		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護の基本I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年生		学期及び曜時限	後期 木曜2限	教室名	401教室
担 当 教 員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>前期、後期を通して、介護福祉の基本となる理念や、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活の継続性を支援するための方法や仕組みを理解する。今学期では以下の2点について学ぶ。①介護福祉士の専門職としての能力や態度を身につけていく基本を学ぶ。②介護福祉士が必要とされている場面と役割と機能の基本を学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>中央法規出版 介護福祉士養成講座介護の基本1。介護福祉六法</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護福祉の現場は日々の社会の情勢に影響を受けており、社会の現在と変化を知ることが意味がある。新聞等で社会福祉に関する事項を読むことを習慣づける。その中から、興味を持った記事について、内容の簡単な紹介、考察を、学期中2回レポートで報告。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	介護福祉とは一介護の成り立ち1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	授業の目標と講義予定。介護の意味を理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	介護の成り立ち2		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	戦前の社会福祉政策、戦後に、福祉三法が成立するまでの社会福祉政策を理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	介護専門職が誕生した社会的背景とは		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	専門職による介護が誕生した社会的背景を理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷1		最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1970年代、1980年代の高齢者施策を概観する。				
第5回	授業を通じての到達目標	介護の概念の変遷2		最新 介護福祉士養成講座7「介護の基本I」		
	各コマにおける授業予定	老人福祉法制定後の介護に関する施策の概念を理解する。主に1990年代、2000年代以降の高齢者施策を概観し概念の変遷を理解する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	尊厳を支える介護とはどういうことか、具体的に理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	自立を支える介護とはどういうことか具体的に理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉の基本理念まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉の基本理念を演習を通して理解を深める		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	地域や施設・在宅の場における介護福祉士の役割と機能を地域包括システム、介護予防の必要性と併せて、理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の活動の場と役割2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	新たに求められている、医療的ケア、看取り、災害時のケアの場における介護福祉士の役割と機能を理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法1	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	社会福祉士及び介護福祉士法の概要を理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士及び介護福祉士法2	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉士が守るべき義務規定の意味を学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成カリキュラムの変遷	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	社会の情勢の変化につれ、介護ニーズが変わっていき介護福祉士に求められる役割も変化していったことをカリキュラムの変遷を通して理解する。今求められる介護福祉士像を理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士を支える団体	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護福祉士を支える職能団体等を理解し、専門的な技術・知識を高める生涯研修の必要性を理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の基本1の前期まとめ	最新 介護福祉士養成講座3「介護の基本 I」	
		各コマにおける授業予定	介護の基本1前期の復習と演習		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 火2限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)第2版						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。			
		各コマにおける授業予定	生活とは何かを理解する。私たちの生活を構成する重要な要素について理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活は「時間」「空間」「生活リズム」が相互に関連し、構成されていることを理解する。			
		各コマにおける授業予定	生活の特性、生活のしづらさに対する支援を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する			
		各コマにおける授業予定	介護福祉を必要とする人たちの多様性を理解する。介護福祉職のかかわる高齢者について知る。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉を必要とする人たちの暮らしを理解する			
		各コマにおける授業予定	介護福祉職のかかわる障害者について知る。個人の暮らし、歴史を聴く場合の注意点をを知る。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「その人らしさ」と「生活ニーズ」について理解する			
		各コマにおける授業予定	その人らしさや、その多様性について理解する。生活ニーズや、その多様性について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活のしずらさとその支援について理解する。		
		各コマにおける授業予定	私たち自身、介護を必要とする人の生活のしずらさの視点について理解する。家族介護者とその支援について理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の生活を支えるしくみを理解する。		
		各コマにおける授業予定	地域共生社会、地域包括ケアシステムについて理解する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるフォーマルサービスについて理解する		
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者を支えるフォーマルサービスを理解する。フォーマルサービスにおける介護福祉士の支援の視点を知る。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支えるインフォーマルサービスについて理解する		
		各コマにおける授業予定	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの関係を知る。一般的に想定されるインフォーマルサービスについて理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する		
		各コマにおける授業予定	地域連携の意義と目的について学ぶ、地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活を支える仕組み、地域連携について理解する		
		各コマにおける授業予定	地域福祉にかかわる組織・団体について学ぶ。地域福祉の新しい手について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	セーフティマネジメントの考え方を理解する。安全確保を組織で取り組む重要性、安全な暮らしの支援が利用者の尊厳に結びつくことの重要性を理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	リスクマネジメント、ルールや約束を守ることの重要性について理解する。福祉サービスに求められる安心や安全について理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する		
		各コマにおける授業予定	事故防止・予防のための対策を知る。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期まとめ		
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ、後期試験に向け、振り返りと対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 火2限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護全般知識を座学で学び、介護の知識を正しく理解でき、専門性を高めていくように学習する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% 出席20% 授業態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ(中央法規)第2版						
《授業外における学習方法》						
介護保険は理解する。福祉小六法参考						
《履修に当たっての留意点》						
社会の理解と連動している 福祉関連は法はポイントを把握し国家試験対策とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する			
		各コマに おける 授業予定	感染症対策、介護福祉職に必要な感染対策を正しく理解する。			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	介護における安全の確保とリスクマネジメントについて理解する			
		各コマに おける 授業予定	高齢者の特性を理解し、感染症対策について学ぶ、感染予防するための具体的な方法を理解する。			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働の必要性について学ぶ			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	多職種連携・協働の目的と効果について知る。			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。			
		各コマに おける 授業予定	介護実践の場で多職種連携・協働が必要とされる意義について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	課題解決に対する多職種のかかわりには、多様な視点と受容が必要であることを理解し、多職種協働に求められるコミュニケーション能力について学ぶ		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	介護福祉職と協働するさまざまな職種とその役割、機能を理解する		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携・協働の必要性について理解する。		
		各コマにおける授業予定	多職種連携・協働の実際について、事例を通して学ぶ		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	健康管理の意義と目的、働く人の健康や生活を守る法制度、生じやすい健康問題を学ぶ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	介護従事者の健康管理について学ぶ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	こころの健康管理、ストレスとこころの健康との関係、こころの健康管理方法について学ぶ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	身体の健康管理、介護従事者の身体の健康障害の要因を知学び、身体の健康管理を理解する。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	労働環境の整備、労働条件の整備について学ぶ。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護従事者の安全について理解する		
		各コマにおける授業予定	けがを防ぐための労働環境の整備について学ぶ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	後期まとめ		
		各コマにおける授業予定	後期のまとめ、後期試験に向け、振り返りと対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	コミュニケーション技術 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火3限	教室名	401
担 当 教 員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 サービス管理責任者 障がい者施設勤務 実務者研修講師			
《授業科目における学習内容》						
人間の理解と関連しながらコミュニケーションの基本を理解した上で具体的なコミュニケーション技法の取得を目指す						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% レポート 20% グループワークの中の態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座5巻中央法規出版 コミュニケーション技術						
《授業外における学習方法》						
人間の理解、1巻の熟読						
《履修に当たっての留意点》						
介護福祉士に求められるコミュニケーションの基本の理解を習得できることが必要						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの意義、目的を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 介護におけるコミュニケーションの展開過程			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	傾聴の意義と技法を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションの基本技術 コミュニケーション態度			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	言葉以外のコミュニケーションの役割を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	集団でのコミュニケーションの意義を理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	集団におけるコミュニケーション技術 回想法			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション支援の基本となる留意点、考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション障害への対応の基本 振り返り			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション障害の対応方法を学んで行きコミュニケーション技術理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の意向表出の支援の方法を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	家族とのコミュニケーション 家族との関係づくり		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族が持つ介護ストレスと、それに対応したコミュニケーションを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	家族関係と介護ストレスへの対応		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの意義・目的を理解し介護を提供できるようにする	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	介護におけるチームのコミュニケーション 報告連絡相談の技術		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	記録の意義、目的の理解をしていく	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	記録の技術 介護保険の目的		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が書いて活用する記録～書き方、活用をケアにつながることを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	記録の実際		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職が行う、会議の意義、目的、種類、役割を理解できるようになる 議事のプロセスを知ることができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	会議、議事進行、説明の技術 会議の議事進行		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討におけるコミュニケーションの基本姿勢を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	事例検討に関する技術		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者の個人情報を守るために、必要なコミュニケーションを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	情報の活用と管理のための技術		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護におけるコミュニケーションの役割、障害に応じた対応の確認ができるようにする	最新 介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」	授業外での学習方法参考
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 火1限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
生活支援の基本的な考え方を学ぶ 住居環境の意義、家庭生活の理解から利用者の環境を整備する視点、留意点の援助を習得していく						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験70% レポート20% 態度・発表10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 生活支援技術 I (中央法規出版) 第2版						
《授業外における学習方法》						
居住環境の整備を実習時に施設で確認する。住まいの多様性について学ぶ						
《履修に当たっての留意点》						
生活支援技術Ⅱの被服、調理、技術演習の科目と連動していることを講義していく						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援について理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	生活支援の理解 生活支援とは何か?			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	ICFの視点を生活支援に活かし、生活支援におけるチームアプローチの必要性について学び理解できるようになる			
		各コマにおける授業予定	生活支援と介護過程 生活支援とアプローチ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいの役割と生活空間を整備する際の留意点を理解することができる			
		各コマにおける授業予定	居住環境の整備 1. 住まいの役割と機能 2. 生活空間			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	快適な室内環境を整備するための基本的事項を学び、加齢変化に伴う注意点、日常安全と緊急事態に対応を理解ができるようになる			
		各コマにおける授業予定	快適な室内環境 安全に暮らすための生活環境			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	住まいをめぐる現状、それに関わる職種と役割について理解することができる			
		各コマにおける授業予定	高齢者・障害者の住まい 居住環境の整備における多職種との連携			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	移動の一連の流れ、基本的な視点から安全、安楽に介助できるようにする		
		各コマにおける授業予定	自立に向けた移動の介護 自立した移動・移乗の介護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	安楽な姿勢・体位を保持道具、用具について学ぶことができる		
		各コマにおける授業予定	安楽な姿勢・体位を保持する介助		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境と整備、福祉用具について学べるようになる		
		各コマにおける授業予定	移動・移乗のための道具・用具		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の支援に向けて介護福祉職と連携する意味を理解することができる		
		各コマにおける授業予定	歩行介助について 歩行のポイント 道具、用具 多職種との連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉用具の定義、意義、介護保険、障害者総合支援法における福祉用具のサービスを理解できるようになる		
		各コマにおける授業予定	福祉用具の意義 公的制度における福祉用具サービス		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度のなかでできる家事の範囲を理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	自立生活を支える家事 自立に向けた家事介護		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職との連携のあり方を理解ができるようになる		
		各コマにおける授業予定	家事の介護における多職種との連携		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に起こりやすい事故、緊急時の連携のあり方を学ぶことができる		
		各コマにおける授業予定	応急手当について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	支援者の姿の理解、多職種協働の必要性について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	災害時における生活支援 1.被災地で活動する際の心構え2.災害時		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践を行うための知識を確認することができる		
		各コマにおける授業予定	まとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	通年 木曜1限	教室名	401教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」/最新 介護福祉士養成講座Ⅱ7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>各領域で学んだ知識と関連付けられるようにする。専門的な用語も出てくるので調べておく必要がある。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>専門分野「介護」の領域となる「生活支援技術」である。他科目との関連性も踏まえ学習していく。生活支援技術(技術)との関連性も重要となるので、根拠をしっかりと押さえておく必要がある。授業の事前事後の学習が重要である。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	授業概要について理解することができる 生活とは何か、生活支援とは何かについて理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	生活支援について				
第2回	授業を通じての到達目標	自立支援について理解できる。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護 自立した移動のあり方について理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	介護の原則「安全・安楽、自立支援、個人の尊厳」に則り、利用者が安心して活動・運動するための技術の根拠が理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護:移動の基本的理解				
第4回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。利用者の生活習慣を知り、状態を観察して、利用者に適した介護技術の展開ができる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護				
第5回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	洗顔の介助/整髪の介助/髭の手入れ/爪の手入れ/耳の清潔の介助				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	化粧/口腔ケア/身じたくの介護における多職種との連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した食事のあり方について理解する。自立に向けた食事の介護をするために介護福祉士がすべきことを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護/誤嚥の予防のための支援/多職種との連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔の目的は何か、清潔の保持が生活にどのような影響と意義を持つのかを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した入浴・清潔保持とは		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持を安全・安楽に行い、尊厳を守り、自立支援を可能にするために欠かせないアセスメントの力をつける	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/入浴における多職種連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した排泄について理解する。利用者に合った排泄の介護ができるよう、利用者を観察する視点について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した排泄とは		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする利用者の心身の状況・状態に応じた適切な排泄方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	排泄方法の選択 トイレ/ポータブルトイレ/尿器・便器での排泄/おむつでの排泄や導尿の検討		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとって休息・睡眠がどのような意味をもつか理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠とは		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のとらえ方を学び、人生の最終段階の介護の考え方と介護福祉職の役割について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階の意義と介護の役割		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階におけるアセスメントの視点が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階におけるケアがめざすもの		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容が理解できているか確認できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	前期授業のまとめをする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規						
《授業外における学習方法》						
介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活支援技術の授業内容が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業概要、実習室使用方法、身だしなみ等)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	骨格や筋肉などの相互関係で起こる身体の動きのメカニズムについて学習し、利用者・介助者双方の負担を少なくする体の使い方を理解する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠環境を整える方法(ベッドメイキング等)を理解し、根拠を説明できる力を身に付ける	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング/主な姿勢について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを応用した、利用者と介助者の身体的負担が少ない介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起居動作(寝返り、起き上がり、立ち上がり)の介助/体位変換の介助			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上方移動・下方移動・水平移動・スライディングシート(ボード)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	仰臥位から側臥位(対面法・背面法)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起き上がりから端座位への介助		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	端座位から立位への介助/安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 側臥位における安楽な体位を保持する介助 半座位(ファーラー位)における安楽な体位を保持する介助		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	歩行の介助を行うにあたってのポイントが理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	3動作歩行・2動作歩行		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障がい者擬似体験をすることで高齢者・障がい者の身体的・精神的負担を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・障がい者擬似体験をする		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	車いす介助の方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	校外にて車椅子の操作をする		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドから車いすへの移乗の介助/車いすかたベッドへの移乗の介助		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	移乗全般にわたり介助が必要な利用者の介助		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	福祉用具を活用した移乗(スライディングボード・シート・移動用リフト)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	洗顔、整髪、ひげの手入れ、爪の手入れ、耳の清潔		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	口腔ケア/衣服の着脱			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	介助を必要とする利用者の心身の状態・状況に応じた適切な介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	食卓で行う食事の介助/ベッド上で行う食事の介助			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	個浴/特殊浴槽(機械浴)			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	リフト浴/シャワー浴			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	全身清拭/部分清拭/陰部洗浄			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭・陰部洗浄		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄の介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	尿器、差し込み便器での排泄介助		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッド上でのおむつ交換、自己導尿、座薬挿入		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	最終段階の介護技術について学ぶ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水2時限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて総合的に学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規)第2版・実習と記録(介護福祉士編)</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士養成教育全体のなかで、「介護総合演習」がどのような位置づけになっているか理解する			
		各コマにおける授業予定	自身の目標設定、介護実習について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の意義と目的を理解する			
		各コマにおける授業予定	実習目標の大切さの理解、実習前、実習中、実習後という介護実習の主な流れと学習のポイントを知る。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習の種類の確認と各実習における目的内容を理解する			
		各コマにおける授業予定	介護実習 I・II の目的、内容、実習先などを学習する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習前の学びと実習後の学びの活かし方について理解する。			
		各コマにおける授業予定	実習前及び実習中に学んだことをどのように活かしていくのかを学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。			
		各コマにおける授業予定	実習前、実習準備について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。		
		各コマにおける授業予定	実習中の学び、実習にのぞむ姿勢、実習日誌について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実習準備、実習中、実習後の学びの内容と方法を理解する。		
		各コマにおける授業予定	実習後の学習の意義と目的を学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	訪問介護・通所介護・通所リハビリテーション・障害者支援施設について学ぶ。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習個人票の作成、実習日誌の書き方を学ぶ		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習個人票の作成、実習日誌の書き方を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習の目標の確認、実習に向け準備		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水2時限	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて総合的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座10 介護総合演習・介護実習(中央法規)第2版・実習と記録(介護福祉士編)						
《授業外における学習方法》						
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。						
《履修に当たっての留意点》						
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習を振り返り、実習後の学びを理解する。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会について学び、準備を行う。			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会を通じて、実習で学びえたことを共有し、今後の学習に行かすことができる			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会の開催			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習先の特徴を演習を通して理解する		
		各コマにおける授業予定	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・養護老人ホーム・グループホーム・小規模多機能型居宅介護・軽費老人ホームについて学ぶ		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習Ⅱ-①に向け、実習日誌、個人票の作成		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	実習の事前準備を行い実習に向けて取り組み実習準備ができる		
		各コマにおける授業予定	実習Ⅱ-①に向け、実習日誌、個人票の作成		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	1年のまとめ		
		各コマにおける授業予定	1年間学んだことを振り返り、2年時の目標の設定を行う		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達と老化の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 水1限目	教室名	402
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
人間の成長と発達の過程における、身体的・心理的・社会変化および老化が生活に及ぼす影響について理解しライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な基礎的知識を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	スキヤモンの発達曲線を理解できるようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	人間の成長と発達の基礎的知識				
第2回	授業を 通じての 到達目標	発達理論と発達課題を理解できるようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	人間の発達段階と発達課題				
第3回	授業を 通じての 到達目標	身体的機能の成長と発達を理解できるようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	人間の発達段階と発達課題				
第4回	授業を 通じての 到達目標	心理的機能の発達を理解できるようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	人間の発達段階と発達課題				
第5回	授業を 通じての 到達目標	社会的機能の発達を理解できるようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	人間の発達段階と発達課題				
				介護福祉士 養成講座編集委		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の定義と老化を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期の発達課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年期をめぐる今日的課題を理解できるようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老年期の特徴と発達課題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう身体的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう心理的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなう社会的な変化と生活への影響	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	老化にともなう心とからだの変化と生活		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	認知症の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 水曜3限	教室名	401
担 当 教 員	杉井 将俊	実務経験と その関連資格	社会福祉士、第一種衛生管理者、サービス管理責任者			
《授業科目における学習内容》						
認知症に関する基礎知識を習得し、その特性や対応等を理解する。 認知症の方を取り巻く環境の把握を含め、介護福祉士として行う支援について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験 70% 2. 出席状況 20% 3. 授業態度 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座 「認知症の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉士養成講座 「障害の理解」(中央法規出版)						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書範囲の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉、実習での経験に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問してください。 講義において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待しています。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	今後の授業の展開を理解し、認知症について現状での学習状況を整理できる		最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	オリエンテーション、認知症とは				
第2回	授業を 通じての 到達目標	認知症の全体像を捉えることができる		最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	認知症の基本的理解について				
第3回	授業を 通じての 到達目標	脳の仕組みについて、心身状態と合わせて理解することができる		最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	脳の構造と認知症について				
第4回	授業を 通じての 到達目標	認知症の方の心理を理解し、精神的な支援について考えることができる		最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	認知症の方の心理(抱く感情や思い等)と家族の心理について				
第5回	授業を 通じての 到達目標	認知症の症状を理解することができる		最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。	
	各コマに おける 授業予定	認知症の中核症状について				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症による生活上の困りごとを理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の方の生活上の障害について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の症状を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症のBPSDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の診断と用いられる診断基準等を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の診断基準と重症度について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の原因と関連疾患を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の原因となる疾患と現れる症状について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症と類似疾患、障害を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症に類似した症状や関連する身体障害について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の治療の現在を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症の治療とその効果について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症予防とその考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	認知症予防の具体的内容と取り組みについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の方を取り巻く環境を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	過去から現在の認知症の方とその周囲の環境について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の方の支援から関わりの考え方を理解することができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	総括講義		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、認知症の基礎的理解ができる	最新 介護福祉士養成講座「認知症の理解」	教科書の指定範囲を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年 火4限	教室名	401教室
担 当 教 員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	今後の授業の展開を理解し、障害について、現時点での自身の捉え方、考え方を持つことができる。	教科書		
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、障害(者児)とは			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別について自分の考えを発言できることに加え、定義、内容を理解する。	教科書	障害種別の把握	
		各コマにおける授業予定	障害種別、定義について考え、共有する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国内外における障害の概念や捉え方を理解し、変遷について説明できる。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べる	
		各コマにおける授業予定	障害の概念と理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	法整備の変遷、現行法令の概要が理解できる	教科書、 障害福祉サー ビスの利用につ いて (冊子)	現行法令の把握	
		各コマにおける授業予定	障害に関する法的理解と変遷			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害種別ごとに有効なコミュニケーション方法の概要が理解できる。	教科書、 障害福祉サー ビスの利用につ いて (冊子)	障害種別ごとの特性把握	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた関わり方の概要			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害の特性や等級、状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について①(基本的理解)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:身体障害について②(実態と支援)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について①(基本的理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	知的障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:知的障害について②(実態と支援)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害の特性や状態像を理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について①(基本的理解)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神障害者児の生活等の状況を理解し、必要な支援について理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害種別理解:精神障害について②(実態と支援)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害の特性、障害福祉における難病について理解できる。	教科書	障害特性の把握
		各コマにおける授業予定	難病及び高次脳機能障害について(基本的理解から実態と支援)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児が利用できるサービスや関連する支援の概要を説明できる。	教科書	障害福祉サービスの概要把握
		各コマにおける授業予定	障害者児支援と障害福祉サービスの概要		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	バリアフリー等の環境整備の重要性を理解し、有効性の説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じた生活環境の概要		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期における授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	障害の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	通年 火4限	教室名	401教室
担 当 教 員	菊本智泰	実務経験と その関連資格	社会福祉士 障がい者施設勤務			
《授業科目における学習内容》						
<p>障害者児を取り巻く環境と法整備の状況や変遷等の理解。 多岐にわたる障害者児の心身機能、環境や関わり方と介護福祉士として行う支援への活用法。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席状況:20% 3. 授業(演習含む)態度:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座「障害の理解」(中央法規出版) 最新 介護福祉全書「障害の理解」(メヂカルフレンド社) その他必要に応じて講義内で紹介						
《授業外における学習方法》						
講義にて取り扱う教科書内容の事前確認、福祉に関する報道等の情報把握、その他講義内にて伝達						
《履修に当たっての留意点》						
講義や福祉に関して不明なこと、疑問に感じたことは質問して下さい。 講義、演習において皆さんに意見を求めることがありますので、積極的な発言を期待します。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	福祉に関連する法令を理解し、法令ごとの対象、範囲等を説明 できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	障害者児に関する法的概要と関連法令			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	手帳制度について、その対象者や意義、交付、利用方法につい て説明できる。	教科書		
		各コマに おける 授業予定	各種障害者手帳について(取得、利用等)			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	補装具等の種類を理解し、対象者や正しい使用方法を説明でき る。	教科書、 補装具支給事務 ガイドブック	補装具等を事前に調べ る	
		各コマに おける 授業予定	補装具、日常生活用具について			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	サービスの種別、制度の変遷を理解できる。	教科書、 障害福祉サー ビスの利用につ いて (冊子)	障害福祉サービス種別 の把握	
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの概要			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	居宅系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解で きる。	教科書、 障害福祉サー ビスの利用につ いて (冊子)		
		各コマに おける 授業予定	障害福祉サービスの体系(居宅系サービス)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設系サービスの種別、それぞれの提供サービス内容を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービスの体系 (施設系サービス、地域生活支援事業)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害福祉に関連する各職種の業務を理解し、連携の意義等について具体的に説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	他(多)職種の理解と連携について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	サービス利用や計画の意義を理解し、支援実施に向けた過程を説明できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害福祉サービス利用の具体的過程と支援 (計画から支援へ)		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の地域生活における現状を理解し、課題等を考えることができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	地域生活を基本とした障害者児の生活について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者差別、歴史的変遷を理解し、自分の見解を持つことができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児の権利擁護について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者虐待の内容や防止、身体拘束廃止に関する取り組みについて理解する。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者虐待防止について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	状態像に応じた有用なコミュニケーション方法を理解し、実践できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害状態に応じたコミュニケーション		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児のみでなく、その家族や生活、心理状態を理解できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	障害者児とその家族の理解と関わり、支援について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者児の支援体系、地域生活等について自分の言葉で必要な説明ができる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	総括講義		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業内容を理解し、試験問題に対して適切に解答できる。	教科書	
		各コマにおける授業予定	今までの授業の振り返りと試験対策		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	401
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠をもって生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) 参考書:からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術など他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみについて必要性を理解できる こころのしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	こころとからだのしくみの講義オリエンテーション こころのしくみ、健康とは何か、マズローの基本的欲求について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころのしくみについて、マズローの欲求段階説、学習とは、記憶とはを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	こころのしくみ、人間の基本的欲求について、介護現場でどう生かすことができるのか、学習とは、条件付けと観察学習について、短期記憶、長期記憶について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころのしくみ、意欲と動機付け、代表的な適応機制について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	適応のしくみ、適応障害、適応機制、ライチャードによる高齢者の人格の分類について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護の根拠となる人体の構造や機能について 人体の骨格、身体各部、筋肉の名称について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	人体の骨格の名称、身体各部の名称、筋肉の名称について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体各部の役割を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座こころとからだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	細胞のはたらき、遺伝、脳と神経、自律神経の働きについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚器について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	視覚器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、外皮の各部の名称と役割について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器、呼吸のしくみについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔、歯、唾液、咽頭、喉頭、声帯、肺、気管支各部の名称と役割について 呼吸のしくみについて 人体各部の名称テスト		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	心臓の解剖や大循環・小循環のメカニズムについて 血管、血液のしくみについて		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	リンパ・免疫・アレルギーについて解剖や生理的機能を理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	リンパ・免疫・アレルギーについて 生体防御システム、ワクチンのしくみについて		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器官について構造や働きを理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔より肛門までの消化器について構造や働きについて		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化腺について(肝臓脾臓膵臓)の解剖や生理的機能を理解することができる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	肝臓、胆嚢、脾臓、膵臓の構造、はたらきについて 各部の消化腺やホルモンのはたらき、糖尿病について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能および生殖器についての解剖や生理的機能、内分泌について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	尿の分泌・排泄に関する臓器の解剖や生理的機能について 生殖器についての解剖や生理的機能について 内分泌ホルモンについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨の生理的作用、骨格、筋肉の名称、はたらき、関節との関係について理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	骨の役割、筋肉との関係、内臓筋のはたらき、関節の動き、可動域について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の維持と恒常性のしくみについて理解できる 介護福祉職に必要な薬の知識	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	バイタルサインとは 高齢者によく使われる薬、高齢者に薬の副作用が多い理由、注意が必要な薬について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活支援のために必要な、人間のこころのしくみやからだの解剖生理的機能、メカニズムについて理解できる	・教科書 新・介護福祉士養成講座 ・からだのしくみ ・配布資料 ・からだのしくみ事典	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 ・授業終了時に、提示する課題を実施しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前期講義の振り返り		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	通年 木1限	教室名	pc視聴覚室
担 当 教 員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>コンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2010</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>自宅にあるPCを使つての復習等。</p>						
《履修に当たつての留意点》						
<p>MicrosoftOfficeの基本的な操作方法を覚える。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	MicrosoftOfficeとは何か。を理解する		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマに おける 授業予定	ワード、エクセル、パワーポイントの紹介。簡単な操作方法				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	文書作成ソフトを使って基本的な文書作成ができる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマに おける 授業予定	タイピング練習。ワードの基礎的な操作方法を覚える				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	ビジネス文書を作成できる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマに おける 授業予定	文書作成、書式設定の方法を覚える				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	グラフィック機能を利用し、表現豊かな文書を作成できる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマに おける 授業予定	文書内に写真・イラストを挿入する方法を覚える				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	ワードでの表の作成や編集ができる		よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習	
	各コマに おける 授業予定	文書内での表の挿入の仕方、編集の仕方を覚える				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	エクセルの基本操作ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	エクセルの画面構成、操作方法を覚える		
第7回	授業を通じての到達目標	四則演算、関数、絶対参照といった計算機能を使う事ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	エクセルでの表作成、関数を使った計算の方法を覚える		
第8回	授業を通じての到達目標	グラフの作成方法を理解し、活用できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	作成した表から、適切なグラフを選び挿入することができるようになる		
第9回	授業を通じての到達目標	データベース機能を理解し、活用できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	膨大な表から必要な情報を抽出し、抜き出すことができるようになる		
第10回	授業を通じての到達目標	エクセル・ワード まとめ練習問題 等	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	ワード・エクセルでの操作のまとめ問題集		
第11回	授業を通じての到達目標	PowerPointの基本操作ができる グラフィック機能を活用し、表現力豊かなスライドが作成できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	PowerPointを使ったスライドの作り方、基本的な操作方法を覚える		
第12回	授業を通じての到達目標	特殊効果を設定し、魅せるスライドの作り方を練習する	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	ページの切り替え設定を利用し、見た目を重視したスライドを作成		
第13回	授業を通じての到達目標	スライド作成ができる(課題作成)	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	与えられた課題について、自身で調べながらスライドを作成		
第14回	授業を通じての到達目標	与えられた課題に沿ってスライド作成、完成まで	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	課題作成、プレゼンテーション発表		
第15回	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeでの操作方法を理解し、実践で使うことができるようになる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い復習
	各コマにおける授業予定	まとめと試験		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	PC教室
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	看護師として病院に28年勤務した。研究経験は看護学校にて卒論、就職後も院内看護研究に取り組み、研究委員を務め、日本看護学会にも数回発表し、学会論文集に論文を掲載している。			
《授業科目における学習内容》						
高齢者の楽しみ・活動の支援・介助について、グループ研究として取り組む。 知識を専門的に身につけ、論文を作成・発表することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
グループ評価・・・研究計画書70%、出席20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行						
《授業外における学習方法》						
日本介護福祉学会などの研究論文を読んで知見を深める						
《履修に当たっての留意点》						
介護研究とは、介護研究の必要性がわかる、取り組みが介護の質の向上につながり、利用者に還元するものであることがわかる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護研究について、発表までの流れを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションを聞き、研究の授業の流れを知り、この取り組みが卒業研究になることを説明できる			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究とは 研究テーマの見つけ方を理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	なぜ研究を行うのか、介護研究とは、を説明できる			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索について理解出来る	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	文献とは何か、参考研究論文を探して自分の興味・関心は何かを説明できる			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索の目的を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	参考研究論文を探して自分の興味・関心は何か探することができる A4にまとめることができる			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	文献検索の結果疑問が明らかになったのか理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	気になったテーマのわかったこと、分からないことをまとめ、発表することができる。この先行研究は何をどのように明らかにしたのか、まとめて発表することができる			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究仮グループで研究計画書「テーマ」について理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	テーマ別で仮グループを作り、仮テーマを決めることができる		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	仮テーマで研究計画書を作ることを理解できる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマについて」文献検索することができる テーマ選び・文献検索 仮テーマを決めることができる		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	仮テーマを決める 仮テーマで研究計画書の記入することを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「テーマ・キーワード」について、文献検索できる		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究動機、研究の背景を文献からまとめることを理解する 何が明らかになって、明らかになって異なることは何かを理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究計画書「動機、背景」について説明することができる		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	テーマ選び・文献検索を理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究の背景を文献からまとめることができ、何が明らかになって、明らかになって異なることは何か、そこから自分たちは何を明らかにしていくのか、研究の目的を考えることができる		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「目的、倫理的配慮、仮説」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	目的、倫理的配慮、仮説を説明することができる		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「方法、倫理的配慮」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	方法、倫理的配慮を説明できる		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「倫理的配慮、仮説、研究の意義」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	倫理的配慮、仮説、研究の意義を説明できる		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書「仮説、方法」について理解する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	仮説、方法を説明できる		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	健康科学講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	401教室
担当教員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員、赤十字救急法指導員、NSCA-CPT			
《授業科目における学習内容》						
座学にてストレッチングや筋力トレーニングについて必要な筋、骨格や生理学などを学ぶ。 障がい者スポーツ、ニュースポーツを体験し、理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:70% 2. 出席点:20% 3. 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
やさしいスポーツ医科学の基礎知識 (嵯峨野書院) 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
教科書を読んで事前学習を行う。 学んだ項目については、教科書、配布プリントに目を通し復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
介護予防に必要なストレッチング、筋力トレーニングを学ぶ上で、実践時の事故予防にもつながるため、技術のみならず、筋・骨格、生理学、スポーツ傷害の知識も必要になる。しっかりと予習、復習を行い授業に挑んでほしい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	スポーツ活動に必要な体の仕組みやスポーツ活動の効果と意義について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知 識 配布プリント	テキスト、配布プリントを 読み込み理解し、講義 内容について復習をし ておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ医科学概論			
第2回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動と筋肉、運動と循環について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知 識 配布プリント	テキスト、配布プリントを 読み込み理解し、講義 内容について復習をし ておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ生理学①(筋肉、循環)			
第3回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動と呼吸、運動と神経について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知 識 配布プリント	テキスト、配布プリントを 読み込み理解し、講義 内容について復習をし ておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ生理学②(呼吸、神経)			
第4回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	運動と骨について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知 識 配布プリント	テキスト、配布プリントを 読み込み理解し、講義 内容について復習をし ておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ生理学③(骨)			
第5回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	熱中症やスポーツ中の心停止などの急性の傷害について理解 することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知 識 配布プリント	テキスト、配布プリントを 読み込み理解し、講義 内容について復習をし ておく。	
		各コマに おける 授業予定	スポーツ医学(内科系障害①)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	オーバートレーニングなどの慢性の傷害について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	テキスト、配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツ医学(内科系障害②)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	上肢、下肢の主な外傷・障害について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	テキスト、配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツ医学(外科的障害①)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	頭頸部・体幹の主な外傷・障害について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	テキスト、配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツ医学(外科的障害②)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツトレーニングの全体構造や体力・技術・戦術・心のトレーニングについて理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	テキスト、配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学①		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	栄養素と栄養障害について理解することができる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	テキスト、配布プリントを読み込み理解し、講義内容について復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツ栄養学②		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ、ニュースポーツを体験し理解することができる。	配布プリント	障がい者スポーツとニュースポーツについて調べ、講義内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツ、ニュースポーツの理解① (100cm走、ボッチャ)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ、ニュースポーツを体験し理解することができる。	配布プリント	障がい者スポーツとニュースポーツについて調べ、講義内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツ、ニュースポーツの理解② (キャッチング・ザ・スティック、ゴールボール)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ、ニュースポーツを体験し理解することができる。	配布プリント	障がい者スポーツとニュースポーツについて調べ、講義内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツ、ニュースポーツの理解① (シッティングバレー、スリータッチボール)		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツ、ニュースポーツを体験し理解することができる。	配布プリント	障がい者スポーツとニュースポーツについて調べ、講義内容の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツ、ニュースポーツの理解④ (障がい者スポーツとニュースポーツのまとめ)		
第15回	講義 形式	授業を通じての到達目標	前期講義内容の復習を行い、各項目を理解しアウトプットできるようになる。	やさしいスポーツ 医科学の基礎知識 配布プリント	後期学習した項目の復習。
		各コマにおける授業予定	前期講義内容の復習		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期 火2限	教室名	401
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(内実習指導者3年)介護福祉士			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の合格に向けての傾向と対策において、介護福祉士の知識・技術を確認する						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% 態度・ノート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士 過去問題集 模擬問題集(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
過去問題を解き、問題に慣れる						
《履修に当たっての留意点》						
各科目での授業ノート、レポート、テストの復習とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	人間の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (人間と尊厳と自立)				
第2回	授業を 通じての 到達目標	介護基本の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (介護の基本)①				
第3回	授業を 通じての 到達目標	介護基本の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (介護の基本)②				
第4回	授業を 通じての 到達目標	コミュニケーション技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策 (コミュニケーション技術)				
第5回	授業を 通じての 到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる		介護福祉士国家 試験過去問題・ 模擬問題集	履修範囲を復習する 過去問をする	
	各コマに おける 授業予定	国家試験対策(生活支援技術)①				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(生活支援技術)②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活技術の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(生活支援技術)③		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	発達と老化の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(発達と老化の理解)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の理解の教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(障害の理解)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(こころとからだのしくみ)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	こころとからだのしくみの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(こころとからだのしくみ)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアの教科書を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(医療的ケア)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験総合問題を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(総合問題)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験総合問題を使用とし問題を解き、ポイントを掴むことができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	国家試験対策(総合問題)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の問題傾向を掴めることができるようになる	介護福祉士国家試験過去問題・模擬問題集	履修範囲を復習する過去問をする
		各コマにおける授業予定	ここまでの試験		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術 I (調理)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	家政調理実習室
担 当 教 員	袖長 美紗	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
家事の重要性、介護保険制度のなかでできる家事の範囲を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技・定期試験 70% 出席評価点 20% 平常点(授業態度) 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新ビジュアル食品成分表/糖尿病食事療法のための食品交換表/最新 介護福祉士養成講座6 「生活支援技術 I」						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	食品衛生について理解し、食中毒を予防できるようになる。食材の切り方を身に付ける。	配布資料	指定の教科書や資料で事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	調理の基礎、食品衛生について			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	正しい出汁の取り方を身に付け、出汁を使った調理ができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	調理の基礎			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	食品成分表を理解し、献立の立て方に活かせることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	食品成分表について、献立の立て方について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	旬を理解し、季節感のある献立を作ることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	旬の食材を使った季節の献立の立て方			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	栄養素について理解することができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で事前学習しておく	
		各コマにおける授業予定	栄養素と効能別食べ合わせについて			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	食品について理解することができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	食品の保存、加工について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	塩分制限の食事の作り方を身に付けることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	塩分コントロール食		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	塩分制限の食事の作り方を身に付けることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	塩分コントロール食		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病等の食事の作り方を身に付けることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	エネルギーコントロール食		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	糖尿病等の食事の作り方を身に付けることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	エネルギーコントロール食		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	とろみ食、刻み食、流動食を理解できるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	とろみ食、刻み食、流動食について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	嚥下困難食を調理し、介護食を理解できるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	嚥下困難食について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	訪問時(訪問介護)に応用できる調理方法を身につけることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	短時間で作れる料理		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	訪問時(訪問介護)に応用できる調理方法を身につけることができるようになる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	短時間で作れる料理		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの学習の理解度について把握できる	配布資料	指定の教科書や資料で 事前学習しておく
		各コマにおける授業予定	調理の基礎、とろみ食、刻み食、嚥下困難食についての理解度を 確認することができる		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規						
《授業外における学習方法》						
介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活支援技術の授業内容が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業概要、実習室使用方法、身だしなみ等)			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスについて理解する	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	骨格や筋肉などの相互関係で起こる身体の動きのメカニズムについて学習し、利用者・介助者双方の負担を少なくする体の使い方を理解する			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	休息・睡眠環境を整える方法(ベッドメイキング等)を理解し、根拠を説明できる力を身に付ける	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドメイキング/主な姿勢について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	ボディメカニクスを応用した、利用者と介助者の身体的負担が少ない介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起居動作(寝返り、起き上がり、立ち上がり)の介助/体位変換の介助			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」		動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	上方移動・下方移動・水平移動・スライディングシート(ボード)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	仰臥位から側臥位(対面法・背面法)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起き上がりから端座位への介助		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立支援のための適切な介助方法を構築・共有し実施することができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	端座位から立位への介助/安楽な姿勢・体位を保持する介助の実際 側臥位における安楽な体位を保持する介助 半座位(ファーラー位)における安楽な体位を保持する介助		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	歩行の介助を行うにあたってのポイントが理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	3動作歩行・2動作歩行		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者・障がい者擬似体験をすることで高齢者・障がい者の身体的・精神的負担を知ることができる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者・障がい者擬似体験をする		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	車いす介助の方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	校外にて車椅子の操作をする		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッドから車いすへの移乗の介助/車いすかたベッドへの移乗の介助		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	移乗全般にわたり介助が必要な利用者の介助		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた移動の介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	福祉用具を活用した移乗(スライディングボード・シート・移動用リフト)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	洗顔、整髪、ひげの手入れ、爪の手入れ、耳の清潔		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜3・4限	教室名	介護実習室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験・実技評価 70% 出席評価点(参加度) 20% 平常評価 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」中央法規</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護技術を身に付けていく上では授業以外の時間も積極的に活用し練習すること。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実践の場においても生活支援技術(介護技術)は重要な科目になる。自立支援の視点、安心・安全の視点での介護技術を習得できるよう積極的に受講すること。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	口腔ケア/衣服の着脱			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	介助を必要とする利用者の心身の状態・状況に応じた適切な介助方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	食卓で行う食事の介助/ベッド上で行う食事の介助			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	個浴/特殊浴槽(機械浴)			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	リフト浴/シャワー浴			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	全身清拭/部分清拭/陰部洗浄			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	利用者を主体とした安心、安全、安楽な入浴およびその他の清潔保持の技法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	手浴/足浴/洗髪		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた入浴・清潔保持の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/全身清拭・陰部洗浄		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄の介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	トイレ・ポータブルトイレでの排泄介助		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	尿器、差し込み便器での排泄介助		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	自立に向けた排泄介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	ベッド上でのおむつ交換、自己導尿、座薬挿入		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階における介護の基本が理解できる	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	最終段階の介護技術について学ぶ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ内容が理解できている	最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」配布資料	動画での復習、予習をしておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめと試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生活支援技術Ⅱ(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 木曜1限	教室名	401教室
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/保育士・介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術Ⅰ」/最新 介護福祉士養成講座Ⅱ7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>各領域で学んだ知識と関連付けられるようにする。専門的な用語も出てくるので調べておく必要がある。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>専門分野「介護」の領域となる「生活支援技術」である。他科目との関連性も踏まえ学習していく。生活支援技術(技術)との関連性も重要となるので、根拠をしっかりと押さえておく必要がある。授業の事前事後の学習が重要である。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	授業概要について理解することができる 生活とは何か、生活支援とは何かについて理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを 読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	生活支援について				
第2回	授業を通じての到達目標	自立支援について理解できる。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを 読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護 自立した移動のあり方について理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	介護の原則「安全・安楽、自立支援、個人の尊厳」に則り、利用者が安心して活動・運動するための技術の根拠が理解できる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを 読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた移動・移乗の介護:移動の基本的理解				
第4回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。利用者の生活習慣を知り、状態を観察して、利用者に適した介護技術の展開ができる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを 読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	自立に向けた身じたくの介護				
第5回	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを 読んでくる。	
	各コマにおける授業予定	洗顔の介助/整髪の介助/髭の手入れ/爪の手入れ/耳の清潔の介助				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣としての、身じたくの意義と目的について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	化粧/口腔ケア/身じたくの介護における多職種との連携		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した食事のあり方について理解する。自立に向けた食事の介護をするために介護福祉士がすべきことを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立に向けた食事の介護/誤嚥の予防のための支援/多職種との連携		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔の目的は何か、清潔の保持が生活にどのような影響と意義を持つのかを理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した入浴・清潔保持とは		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	入浴・清潔保持を安全・安楽に行い、尊厳を守り、自立支援を可能にするために欠かせないアセスメントの力をつける	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	清潔保持の介助/入浴における多職種連携		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	自立した排泄について理解する。利用者に合った排泄の介護ができるよう、利用者を観察する視点について理解する。	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	自立した排泄とは		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護を必要とする利用者の心身の状況・状態に応じた適切な排泄方法が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	排泄方法の選択 トイレ/ポータブルトイレ/尿器・便器での排泄/おむつでの排泄や導尿の検討		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	人間にとって休息・睡眠がどのような意味をもつか理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	休息・睡眠とは		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のとらえ方を学び、人生の最終段階の介護の考え方と介護福祉職の役割について理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階の意義と介護の役割		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	人生の最終段階におけるアセスメントの視点が理解できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	人生の最終段階におけるケアがめざすもの		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期の学習内容が理解できているか確認できる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ」	教科書の指定ページを読んでくる。
		各コマにおける授業予定	前期授業のまとめをする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 実習日	教室名	実習施設
担 当 教 員	上木 大雅	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設にて5年勤務/介護福祉士			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設において実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技点70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護記録の書き方(メヂカルフレンド社) 介護総合演習8 (メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護				
第2回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護				
第3回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護				
第4回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護				
第5回	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-① 通所介護 居宅介護		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	96 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	通年 実習日	教室名	実習施設
担 当 教 員	上木 大雅	実務経験と その関連資格	介護老人保健施設にて5年勤務/介護福祉士			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設において実習						
《成績評価の方法と基準》						
実習実技点70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護記録の書き方(メヂカルフレンド社) 介護総合演習8 (メヂカルフレンド社)						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	実習 I-② グループホーム 特別養護老人ホーム				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		

学 科	介護福祉士		科 目 区 分		授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.						
《授業外における学習方法》						
授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む						
《履修に当たっての留意点》						
医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	医行為とはどういうことか、その法的理解などについて理解する 介護福祉職等における喀痰吸引制度と「医療的ケア」について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 医療的ケアとは 医行為とは(法的な理解)について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	チーム医療、医療の倫理について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療の倫理、倫理上の原則、自己決定の権利、個人情報の保護 利用者、家族に対する説明と同意について			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	個人の尊厳と自律について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	個人の尊厳と自律、利用者の尊厳を守り、自律を助ける支援、 利用者、家族の気持ちの理解について			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引制度(社会福祉士及び介護福祉士法の改正)について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	医療制度と其の変換、医療提供のしくみ、家族のケア負担と其の解決法、 社会福祉士及び介護福祉士法の改正、改正法による喀痰吸引法制度の概要について			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	医療的ケアと喀痰吸引等の背景、その他の制度について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引等研修、介護福祉士養成課程における医療的ケアの学習、 社会福祉士及び介護福祉士法以外の法制度について			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施、リスクマネジメントの考え方と 枠組み、ヒヤリハット、アクシデント報告、その書き方について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	救急蘇生とは、必要性、一時救急救命、救急蘇生、救急蘇生法の 実際、AEDについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	清潔保持と感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	感染とは、地域集団、施設・組織としての予防策、手洗い・うがいの基本、 知識と手順について、手洗いの演習実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉職の感染予防について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉職の健康管理、ワクチン接種とは・原理と種類、使い捨て手袋や ガウン等の使用の必要性、標準予防策について、タダシイマスクやエプロ ンのつけ方の実施		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	療養環境の清潔、消毒法について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	環境の違いや感染性のある体液、嘔吐・排泄物の扱い、医療廃棄物の処 理について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	感染性廃棄物の処理のしかたについて理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	ビニール袋を使った簡易エプロンの作成、模擬吐物の処理の実施演習		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	消毒と滅菌について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点について		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	健康状態の把握について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	平常状態とは、県呼応上体を知る項目(バイタルサイン)、体温、脈拍、呼 吸、血圧について、測定の実施		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	急変状態について理解する	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急変状態とは、急変時の対応と事前準備(報告、連絡文、応急手当、記 録)について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	授業のまとめ、振り返り	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
		各コマにおける授業予定	振り返り		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術(点字)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	井戸 美智夫	実務経験と その関連資格	病院勤務のち、自宅にて鍼灸・マッサージの家やすらぎ開業			
《授業科目における学習内容》						
コミュニケーションの技術(点字)の基礎、応用を学び、視覚障害者に応じた支援を理解する						
《成績評価の方法と基準》						
参加度・絵本製作 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
点訳の広場、点字器、点字絵本						
《授業外における学習方法》						
点字や点字ブロック、バリアフリーについて調べておく						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害の概念を知る	点訳の広場		点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	点字(50音の理解1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の50音が理解できる	点訳の広場		点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	50音の理解(単語による練習、読み、書き)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の50音が理解できる	点訳の広場		点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	単語による練習 濁音・半濁音の理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害者の誘導が分かる	点訳の広場		点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	視覚障害者のトイレ誘導、白杖を使用しての誘導			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字50音の練習をする	点訳の広場		点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	濁音・半濁音の読みと書き			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字50音の練習をする	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	拗音・拗濁音の読み書きの理解		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字・調音符号が分かる	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	調音府の理解(読み・書き)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字・数字の書き方が分かる	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	点字・数字の書き方理解		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字・数字の書き方が分かり、復習ができる	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	指点字の理解		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	「わかち書き」が分かる	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	基礎の「わかち書き」を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	わかち書き:マス空けの把握	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	マス空けの把握		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	指点字の理解ができる	点訳の広場	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	指点字の理解		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害者の体験(視覚障害者の移動を通し問題を学ぶ)		大原～平福までの道を下調べしておく
		各コマにおける授業予定	大原～平福まで移動する		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	視覚障害者の体験(視覚障害者の移動を通し問題を学ぶ)		大原～平福までの道を下調べしておく
		各コマにおける授業予定	平福～大原まで移動する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	絵本作りができる	絵本	点字を練習しておく
		各コマにおける授業予定	視覚障害児が利用する絵本づくりを体験する		